

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公開番号】特開2000-230582(P2000-230582A)

【公開日】平成12年8月22日(2000.8.22)

【出願番号】特願平11-43662

【国際特許分類】

F 16 D 41/06 (2006.01)

【F I】

F 16 D 41/06 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月14日(2006.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

更に、上記外輪23の軸方向両端部内周面と上記各外側内輪24、24の外周面との間の隙間は、それぞれシールリング31、31により塞いでいる。これら各シールリング31、31は、それぞれ芯金32と弾性材33とにより構成しており、上記外輪23の両端部内周面に、上記弾性材33の外径を弾性的に縮めた状態で、内嵌支持している。そして、各弾性材33、33にそれぞれ複数本ずつ設けたシールリップの先端縁を、上記外側内輪24、24の中間部外周面、及び上記各外輪側萼部27a、27bの内側面に、摺接若しくは当接させている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

尚、上記くさび角 γ が、 $\gamma > 2 \tan^{-1} 0.3$ の関係を満たす様にする為には、円筒状隙間の直径方向厚さHと各ローラ3の外径D₃(図2)との比(H/D₃)と、これら各ローラ3の転動面と接する各凹部9aの一端部の曲率半径R_{9a}と外輪23の内径D₂₃(図2)との比(R_{9a}/D₂₃)とを、それぞれ所定値よりも小さくする必要がある。例えば、上記外輪23の内径D₂₃と上記各ローラ3の外径D₃との比(D₂₃/D₃)を10とし、上記各凹部9aの一端部の曲率半径R_{9a}と上記各ローラ3の外径D₃との比(R_{9a}/D₃)を0.1とした場合に、上記比H/D₃を0.887よりも小さくすれば(H/D₃ < 0.887)、 $\gamma > 2 \tan^{-1} 0.3$ である上記くさび角 γ を得られる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図8】

